

第3章

健幸（けんこう）長寿のまち

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)		
					会計	投入コスト		活動実績(R5)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目		
						R4予算現額	R4決算額		項目名	指標名					目標設定の考え方・根拠	
312	こども未来部	こども家庭センター	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	B	目標には達しなかったが、1施設が本事業を活用し、令和5年7月にデイサービス型を開設した。新規開設した施設では、令和5年度の利用実績が38日分あり、産後ケア事業による母子への支援拡充を図ることができた。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を		
			優先	自治事務		R5予算現額	R5決算額(見込み)						①申請・交付件数		産後ケア事業(デイサービス型)の市内開設施設数	産後ケア事業(デイサービス型)の市内での開設を促進し、産後ケア事業の拡充を事を目的としているため、開設施設数を指標とする。
			根拠法令	母子保健法、母子保健医療対策総合支援事業実施要綱(国)、所沢市産後ケア事業実施要綱、所沢市産後ケア事業実施施設開設準備経費補助金交付要綱		2,000千円	1,000千円	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	R4目標						
			事業の目的及び具体的な内容	産後ケア事業は、育児に不安があるなど、支援を必要とする褥婦及び産婦並びにその新生児及び乳児に対して、心身のケアや育児サポート等を行い、産後も安心して子育てができる支援体制の確保を目的として、宿泊型とデイサービス型により実施している。このうち、デイサービス型について開設準備に係る経費を補助することで、市内での開設を促進するものである。		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合						実績		R5目標	R5実績
			期間	R5 ~ R7		0.40人	0人	①1件(1施設)	R6目標	R6実績						
						3,232千円										
312	こども未来部	こども家庭センター	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	妊娠届出面接、電話、訪問から、母子保健や育児に関する相談対応を行った。産後ケア事業の情報提供を行うなど、妊娠届出に寄り添う支援を実施した。今後もさらなる支援の拡充に努める。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を		
			優先	自治事務		R5予算現額	R5決算額(見込み)						①電話、窓口、面接、訪問等による相談など ②母乳相談 ③妊婦サロン ④産後ケア		妊産・出産について満足している親の割合	R4目標
			根拠法令	子ども・子育て支援法、母子保健医療対策総合支援事業実施要綱(国)		30,772千円	29,886千円	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績						
			事業の目的及び具体的な内容	核家族化や地域のつながりの希薄化等により、地域で出産、子育てを担う母親の育児負担が増えていることから、妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する様々な相談に円滑に対応する。 ①専門相談員を配置し、電話、窓口、面接、訪問による相談対応(とろっ子子育てサポート事業母子保健型) ②母乳相談 ③妊婦サロンの実施 ④産後ケア事業		3.43人	7人						①5,134件 ②6回(13人) ③12回(37人) ④宿泊型203日(延べ64人)、デイサービス型115日(延べ92人)		83.5%	82.3%
			期間	H28 ~		2.49人	8人	R6目標	R6実績	R6目標値が未達成の理由・分析						
						20,122千円										
												R5年度に改善した点				
312	こども未来部	こども家庭センター	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	B	目標値に達しなかったが、引き続き子どもを望む夫婦に対し費用助成を行うことで、経済的負担の軽減を図り、適切な治療に繋がれるよう支援を行うとともに、少子化対策に資するよう努めていく。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を		
			優先	自治事務		R5予算現額	R5決算額(見込み)						①不妊検査の申請件数 ②不育症検査の申請件数		申請件数(合計)	R4目標
			根拠法令	埼玉県早期不妊検査費・不育症検査費助成事業実施要綱、所沢市早期不妊検査費・不育症検査費助成金交付要綱		4,200千円	3,749千円	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績						
			事業の目的及び具体的な内容	晩婚化の進展に伴い、年齢を重ねるほど妊娠率が下がり、妊娠・出産に係るリスクも高まるなか、子どもを望む夫婦に対し早期の不妊検査及び不育症検査に要する費用の一部を助成することで、経済的負担の軽減を図るものである。不妊検査費及び不育症検査費については、医師が必要と認めた検査で、助成対象となる検査開始時の妻の年齢が35歳未満の方に対して3万円、35歳以上の方に対して2万円を上限とし1回助成する。		0.35人	0.5人						①137件 ②24件		285件	179件
			期間	H29 ~		2,801千円	0.5人	R6目標	R6実績	R6目標値が未達成の理由・分析						
						0.35人	0.5人									
												R5年度に改善した点				

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)					
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目						
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	R4目標					R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析				
323	健康推進部	健康管理課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	大腸がん検診の受診者数は、平成29年度以降微増傾向で、令和元年度に16,788人となったが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度は16,170人まで減少した。その後令和3年度は17,657人に増加し、令和4年度は17,720人、令和5年度は17,850人とわずかながら増加が継続しているため。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を							
			優先	自治事務		253,234千円	225,393千円								①延べ受診勧奨人数(受診券送付含む) ②延べ受診件数(前立腺含む)	大腸がん検診受診率 (受診者数÷対象者数×100=受診率) (受診者:17,850人、対象者:219,453人)	早期発見・早期治療により、がんによる市民の死亡の減少を図ることが目的であるため、性別に関係なく、また、保健センター及び市内協力医療機関のどちらでも受診できる大腸がん検診を指標とする。				
			根拠法令	健康増進法		R5予算現額	R5決算額(見込み)											275,298千円	262,476千円		
			事業の目的及び具体的な内容	がん検診を実施することにより、がんの早期発見と早期治療につなげ、市民のがんによる死亡の減少を図る。 【検診の種類と対象】 胃・肺・大腸がん検診は40歳以上の男女、乳がん検診は40歳以上の女性、子宮頸がん検診は20歳以上の女性、前立腺がん検診は50歳から80歳までの5歳刻みの男性		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合								2.90人	会年職員等 3人	実績	8.4%	8.1%	R5目標値が未達成の理由・分析	
			期間	S58 ~		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合								23,206千円	会年職員等 3人	①70,746人 ②45,131人	R5目標	8.5%	8.1%	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度に16,170人(受診率7.5%)となった受診者数・受診率は、令和5年度には40歳から60歳の国保加入者に受診勧奨したこともあり、17,850人(8.1%)まで向上したが、目標値にまでは至らなかった。
			評価者	健康管理課長 田中 浩文		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合								2.58人	会年職員等 3人	8.6%	R6目標			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			事業自体が貢献する項目	どのように貢献したか																	対象年齢の市民に、市の補助を受け、安価でがん検診を受診する機会を提供している。
323	健康推進部	健康管理課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	S	成果指標の目標値を達成することができ、事業の目的である子宮頸がん検診の受診の促進は図られていると考える。今後は、より高い受診率を目指しながら事業の目的を達することができるよう、引き続き周知と勧奨に努めていく。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を							
			優先	自治事務		0千円	0千円								①自己検査キット申込案内発送数 ②検査実施者数	28歳女性子宮頸がん検診受診率 (受診者数÷対象者数×100=受診率) (受診者:138人、対象者:1,808人)	自己検査キットの送付により子宮頸がん検診受診の促進につなげることが目的とすることから、自己検査キットの申込案内発送対象年齢である28歳女性の子宮頸がん検診の受診率を指標とする。令和4年度の28歳女性の子宮頸がん検診の受診率が2.0%であったことより目標を4.0%に設定する。				
			根拠法令	がん対策基本法		R5予算現額	R5決算額(見込み)											3,159千円	839千円		
			事業の目的及び具体的な内容	自分で手軽に検体を採取することができる検査キットの活用により、がん検診未受診者の定期受診及び子宮頸がんリスクの高い者の早期受診につなげることを目的とするものである。 【自己検査キット申込案内の発送対象】 令和5年度中に28歳になる女性(平成7年4月1日~平成8年3月31日生)		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合								0.00人	会年職員等 0人	実績	—	—	R5目標値が未達成の理由・分析	
			期間	R5 ~		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合								0千円	会年職員等 0人	①1,808人 ②228人	R5目標	4.0%	7.6%	目標達成済
			評価者	健康管理課長 田中 浩文		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合								0.53人	会年職員等 0人	8.0%	R6目標			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			事業自体が貢献する項目	どのように貢献したか																	対象年齢の市民に、HPV自己検査を無償で受診する機会を提供し、子宮頸がん検診の受診促進につながっている。
324	健康推進部	健康管理課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	S	精神保健福祉士による延べ相談件数は10,415件と前年から増加している。相談者の状況に合わせ平日の夜間や緊急時には土曜日などに対応することもある。相談者への支援を優先し関係機関等との連携を図りながら支援を進めた。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を							
			重要	自治事務		6,920千円	5,604千円								①精神保健福祉士による相談件数 ②こころの健康講座及びこころの美術展の参加人数 ③精神障害者等一時宿泊事業の延利用者数及び利用日数	精神保健福祉士による延べ相談件数	精神障害の早期発見、治療、社会復帰及び社会経済活動への参加の促進を図ることが精神保健相談の目的であるため、精神保健福祉士の相談件数を指標とした。				
			根拠法令	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律		R5予算現額	R5決算額(見込み)											6,677千円	5,624千円		
			事業の目的及び具体的な内容	精神保健相談については、来所、訪問、電話及びメール等により行い、必要に応じて専門医による相談を実施する。精神障害の早期発見、早期治療と治療の継続等、社会復帰に向けた総合的な支援を行う。また精神保健福祉に関する知識の普及啓発を実施する。		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合								6.52人	会年職員等 0人	実績	9,000件	10,182件	R5目標値が未達成の理由・分析	
			期間	H14 ~		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合								52,173千円	会年職員等 0人	①延相談件数10,415件 来所相談929件 訪問支援1,042件 電話相談8,326件 メール相談118件 ②延参加人数 3,505人 こころの健康講座 251人参加 こころの美術展 3,254人参加 ③延利用者数 16人 利用日数 56日間	R5目標	9,500件	10,415件	目標達成済
			評価者	健康管理課長 田中 浩文		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合								7.88人	会年職員等 0人	10,000件	R6目標			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			事業自体が貢献する項目	どのように貢献したか																	小学生から高校生を含む10代のこどもに関する相談が増えているため、教育分野や医療機関との連携が課題になっている。また引きこもりや生活困窮、母子保健など複雑な相談も多いため、担当職員の相談技術向上を図る必要がある。

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)		
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目			
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	R4目標					R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	
324	健康推進部	健康管理課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	思春期特有の不安定になりやすい心の特性に配慮しながら、精神科医師の立場から助言を行っている。医療的な助言に限らず、保護者や学校などの環境調整も含めた助言によって、その後の支援に生かされている。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を				
			重要	自治事務	1,071千円	1,015千円	①自死遺族支援「わかちあいの会」の運営 ②思春期こころの健康相談事業	「生きるを支える所沢市行動計画」(自殺対策計画)に基づく施策のうち「思春期こころの健康相談事業」の相談者数を指標とした。	R5目標値が未達成の理由・分析	R5年度に改善した点								
			根拠法令	自殺対策基本法 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律	R5予算現額	R5決算額(見込み)				1,110千円			944千円		R5目標値が未達成の理由・分析	R5年度に改善した点		
			事業の目的及び具体的な内容	事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	0.91人	0人	実績	31人			31人		R5目標値が未達成の理由・分析	R5年度に改善した点		
			期間	自殺対策基本法の基本理念には、自殺が個人的な問題としてのみとらえられるべきものではなく、その背景には様々な社会的な要因があることを踏まえ、その対策が社会的な取組として実施されなければならないとされている。本市においてもその趣旨を踏まえ相談や普及啓発等の自殺防止対策を実施する。	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	7,282千円	0人	①6回実施 66人参加	R5目標			R5実績		相談者の体調や気分によって、当日にキャンセルされることが多い。また、12回の実施予定が11回の実施になったこともあり、相談者数が減少した。	R5目標値が未達成の理由・分析	R5年度に改善した点	
			H21 ~		0.78人	0人	2,001千円	0人	②11回実施 23人	R6目標						R5目標値が未達成の理由・分析	R5年度に改善した点	
					6,303千円	0人				32人							R5目標値が未達成の理由・分析	R5年度に改善した点
																	R5目標値が未達成の理由・分析	R5年度に改善した点
											R5目標値が未達成の理由・分析	R5年度に改善した点						
331	健康推進部	保健医療課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	本事業は、平日夜間、祝休日の昼間・夜間、すべての日の小児の第2次救急医療体制の確保を目的としていることから診療実施率を指標としている。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を				
			優先	自治事務	3,105千円	3,065千円	①診療目標日数(平日夜間、日曜日・夜間、祝休日昼・夜間) ②診療実施日数	小児科救急医療病院群輪番制実施率 診療実施日数 ÷ 診療目標日数	R4目標	R4実績			100.0%		100.0%	R5目標値が未達成の理由・分析	R5年度に改善した点	
			根拠法令	所沢地区小児科救急医療病院群輪番制病院運営費補助に関する協定書、埼玉県小児救急医療施設運営費補助金交付要綱	R5予算現額	R5決算額(見込み)				3,267千円			3,254千円		R5目標値が未達成の理由・分析	R5年度に改善した点		
			事業の目的及び具体的な内容	事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	0.25人	0人	実績	100.0%			100.0%		R5目標値が未達成の理由・分析	R5年度に改善した点		
			期間	夜間(月から土曜日)及び休日・祝日の小児の第2次救急医療を確保するため、所沢市、狭山市、入間市において、3市及び協力医療機関(4病院)による協定書に基づき、輪番制で第2次救急医療体制の整備を図るものである。	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	2,001千円	0人	①439日	R5目標			R5実績		1月1日、西埼玉中央病院の設備入れ替えに伴い救急患者の受入れを停止したため。	R5目標値が未達成の理由・分析	R5年度に改善した点	
			H12 ~		0.54人	0人	4,364千円	0人	②437日	R6目標						R5目標値が未達成の理由・分析	R5年度に改善した点	
										100.0%							R5目標値が未達成の理由・分析	R5年度に改善した点
																	R5目標値が未達成の理由・分析	R5年度に改善した点
											R5目標値が未達成の理由・分析	R5年度に改善した点						
331	健康推進部	保健医療課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	本事業は、一般の医療機関が診療を行っていない休日・祝日及び年未年始における初期救急患者に対する医療体制の確保が目的であることから、診療実施率を指標とした。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を				
			重要	自治事務	16,035千円	15,964千円	①診療計画日数 ②診療実績日数	診療実施率 診療実施日数 ÷ 診療計画日数	R4目標	R4実績			100.0%		100.0%	R5目標値が未達成の理由・分析	R5年度に改善した点	
			根拠法令	埼玉県地域保健医療計画	R5予算現額	R5決算額(見込み)				16,248千円			16,248千円		R5目標値が未達成の理由・分析	R5年度に改善した点		
			事業の目的及び具体的な内容	事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	0.25人	0人	実績	100.0%			100.0%		R5目標値が未達成の理由・分析	R5年度に改善した点		
			期間	一般の医療機関が診療を行っていない休日・祝日及び年未年始において、初期救急患者の医療体制を確保するため、所沢市医師会との委託契約により、市内の医療機関が輪番制で診療を実施するものである。	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	2,001千円	0人	①73日	R5目標			R5実績		目標達成済	R5目標値が未達成の理由・分析	R5年度に改善した点	
			S59 ~		0.53人	0人	4,283千円	0人	②73日	R6目標						R5目標値が未達成の理由・分析	R5年度に改善した点	
										100.0%							R5目標値が未達成の理由・分析	R5年度に改善した点
																	R5目標値が未達成の理由・分析	R5年度に改善した点
											R5目標値が未達成の理由・分析	R5年度に改善した点						

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)			
					会計	投入コスト		活動実績(R5)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目			
						R4予算現額	R4決算額		項目名	指標名					目標設定の考え方・根拠		
331	健康推進部	保健医療課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	S	評価理由	現状の課題	SDGsへの貢献			
			重要	自治事務		31,045千円	31,045千円								①診療計画日数 夜間(366日)+祝日・休日 昼間(73日)	診療実施率 診療実施日数 ÷ 診療計画日数	本事業は、夜間及び休日・祝日、年末年始の第2次救急医療体制を確保することが目的であるため、診療実施率を指標とした。
			根拠法令	所沢地区病院群輪番制病院運営費補助に係る協定書、所沢地区病院群輪番制病院運営費補助金交付要綱		R5予算現額	R5決算額(見込み)										
			事業の目的及び具体的な内容	事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合								R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析
			期間	夜間及び休日・祝日、年末年始の第二次救急患者の医療体制を確保するため、所沢地区(所沢市、狭山市、入間市)における第二次救急医療機関(13病院※)が病院群輪番制方式により診療を実施するものである。 ※狭山中央病院と所沢明生病院の合併に伴い、令和5年12月より12病院で実施している。		0.25人	0人								実績	100.0%	100.0%
			S55 ~			2,001千円	0人								①439日	R5目標	R5実績
						R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合								100.0%	100.0%	目標達成済
		0.54人	0人	②439日	R6目標												
		4,364千円	0人		100.0%												
332	健康推進部	保健医療課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	B	評価理由	現状の課題	SDGsへの貢献			
			重要	自治事務		52,710千円	52,521千円								①在宅介護高齢者歯科診療 診療日数 ②障害児者歯科診療 診療日数 ③休日緊急歯科診療 診療日数	所沢市歯科診療所あおぞらの障害児者の診療実績(単位:人)	障害児者の歯科診療が市の役割として期待されており、これを充実させるため、受診できる最大受診者数を指標とする。
			根拠法令	医療法、所沢市歯科診療所条例		R5予算現額	R5決算額(見込み)										
			事業の目的及び具体的な内容	事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合								実績	850人	661人
			期間	一般の歯科診療所での診療が困難な患者への歯科診療体制及び休日緊急歯科診療体制の確保を目的として、保健センター内「歯科診療所あおぞら」において、在宅介護高齢者及び障害児者の歯科診療、休日緊急歯科診療を実施するものである。		0.52人	0人								①61日	R5目標	R5実績
			H10 ~			4,161千円	0人								②101日	850人	674人
						R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合								③71日	R6目標	
		0.81人	0人		850人												
		6,546千円	0人														
333	市民医療センター	市民医療センター事務総務課	実施計画ランク	事業の種類別	企業会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	評価理由	現状の課題	SDGsへの貢献			
			重要	自治事務		560,676千円	434,147千円								①内科外来診療患者数(二次救急含む) (二次救急含む) ②診療日数	1日の内科外来診療患者数(二次救急含む)(内科外来患者数/診療日数)	公的医療機関として、地域における医療提供体制の充実を図ることを目標とし、信頼して受診いただける受診環境の整備に努めていることから、内科外来の診療患者数を指標とする。
			根拠法令	所沢市病院事業の設置等に関する条例 所沢市市民医療センター管理規則		R5予算現額	R5決算額(見込み)										
			事業の目的及び具体的な内容	事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合								実績	91人	77人
			期間	地域住民の医療ニーズを的確に把握し、地域における医療提供体制の充実を図り、良質な医療を効率的・継続的に提供するものである。 ①内科外来診療 ②内視鏡検査の実施 ③糖尿病外来の実施		10.50人	22.5人								①19,250人	R5目標	R5実績
			S51 ~			84,021千円	24人								②246日	91人	78人
						R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合									R6目標	
		8.30人	24人		91人												
		67,072千円	24人														

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	R4目標					R4実績
333	市民医療センター	市民医療センター事務部総務課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	目標達成には至らなかったが、埼玉県西部圏域における回復期病床の不足から地域包括ケア病床の需要が高まっていたことを受け、令和5年8月に11床から13床への増床を実施した。これにより、地域包括ケア病床における延べ人数が、令和4年度から約7%にあたる651人の増加という結果を出すことができた。並びに、全体のベッドコントロールが以前よりも円滑に行えるようになり、全体病床利用率が56.8%から66.6%に増加する改善効果も生むことができたことから評価した。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を			
			優先	自治事務	748,311千円	601,562千円	①地域包括ケア病床在院患者延数	地域包括ケア病床の利用率(地域包括ケア病床在院患者延数×100/病床数×365)	公的医療機関として、地域医療に求められる病床機能を確保しつつ事業運営をしていくという役割があるため、地域包括ケア病床の利用率を指標とする。			R5年度に改善した点				
			根拠法令	根拠法令	R5予算現額	R5決算額(見込み)	②入院患者実人数	R4実績	R4実績			R5目標値が未達成の理由・分析		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		
			事業の目的及び具体的な内容	事業の目的及び具体的な内容	774,723千円	602,816千円	③病床利用率							④搬送救急収容人数	※延べ年間入院患者数/延べ年間病床数×100	急性期及び回復期の患者のほか、引き続き新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れ、病床管理の調整を図る。
			期間	期間	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	③66.6	R5実績	R5実績			R5目標値が未達成の理由・分析		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		
			S51 ~	S51 ~	31.80人	43.1人	④66人							目標未達成の理由として、病棟において新型コロナウイルスの集団感染が2度発生し、ベッドの回転率が低下したことが影響したものと考えている。	また、市民医療センターの地域包括ケア病床の周知を行い、地域の医療・介護・福祉との連携を深め、病床利用率の向上を図る。	
					R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	①3,359人	R6目標	R6実績			R6目標値が未達成の理由・分析		どのように貢献したか		
		254,464千円	33.1人	②697人	90.0%			地域における医療提供体制の充実を図り、良質な医療の効率的・継続的な提供に努めた。								
333	市民医療センター	市民医療センター事務部総務課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	B	感染症対策として健診会場内の消毒や、密回避のための受付時間の分散、また、受診者へのマスク着用依頼等を講じながら継続的な実施をした。また、受診者を女性に限定した毎月1回のレディースデーの実施を継続し、市民がリラックスして受けられるよう努めた。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を			
			優先	自治事務	642,662千円	497,787千円	①人間ドック等受診者数	市民医療センターで人間ドックを受診し、精密検査を指示された方のうち市民医療センターで精密検査を受けた方の割合	疾病の早期発見、早期治療に取り組むことを目標とするため、人間ドックで精密検査を指示された方のうち、市民医療センターで実際に精密検査を受けた方の割合を指標とする。			R5年度に改善した点				
			根拠法令	根拠法令	R5予算現額	R5決算額(見込み)	②精密検査指示者数	R4実績	R4実績			R5目標値が未達成の理由・分析		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		
			事業の目的及び具体的な内容	事業の目的及び具体的な内容	675,299千円	494,294千円	③市民医療センターでの精密検査受診者数							目標達成	効率的で快適な受診環境の整備に努め、更なる受診者を受入れることにより、市民が健康で安心な生活を送れるよう事業継続に努める。	
			期間	期間	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	①10,023人	R5実績	R5実績			R5目標値が未達成の理由・分析		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		
			S51 ~	S51 ~	17.10人	48人	②1,032人							また、健診結果通知後2ヶ月以内の精検通知により、精検受診の促進に努める。		
					R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	③335人	R6目標	R6実績			R6目標値が未達成の理由・分析		どのように貢献したか		
		136,834千円	50.1人		30.0%			市民の健康維持・増進のため、人間ドック等の健診事業を実施し、疾病の早期発見、早期治療につなげるように努めた。								
333	市民医療センター	市民医療センター事務部総務課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	新型コロナウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎やインフルエンザ等の感染症が拡大したことにより、年間患者数が令和4年度と比較して飛躍的に増加した。しかしながら、所沢市市民医療センター常勤医師のほか、非常勤医師及び所沢市医師会からの派遣医師と連携し、所沢市域全体で小児初期救急医療体制を安定的に実施したため、評価した。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を			
			優先	自治事務	220,285千円	190,920千円	①小児夜間急患診療年間患者数	小児初期救急医療体制の維持	安心して子育てができる医療環境を整備するため、市民医療センターと市内医療機関が連携して、所沢市域全体での小児初期救急医療の提供体制を維持するものである。			R5年度に改善した点				
			根拠法令	根拠法令	R5予算現額	R5決算額(見込み)	②小児深夜帯急患診療年間患者数	R4実績	R4実績			R5目標値が未達成の理由・分析		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		
			事業の目的及び具体的な内容	事業の目的及び具体的な内容	223,448千円	200,216千円	③小児科日曜日・休日急患診療年間患者数							目標達成	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
			期間	期間	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	①2,851人	R5実績	R5実績			R5目標値が未達成の理由・分析		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		
			H11 ~	H11 ~	4.00人	43.5人	②1,311人							今後も安定的に小児初期救急医療体制を維持するため、医師会や他の医療機関との連携に努める。		
					R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	③5,328人	R6目標	R6実績			R6目標値が未達成の理由・分析		どのように貢献したか		
		32,008千円	44.4人		維持			地域における医療提供体制の充実を図り、安心して子育てができる医療環境の整備に努めた。								

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	R4目標	R4実績					R5目標値が未達成の理由・分析
333	市民医療センター	市民医療センター事務部総務課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	新型コロナウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎やインフルエンザ等の感染症が拡大したことにより、年間患者数が令和4年度と比較して飛躍的に増加した中、安定的に小児科外来事業を実施したため評価した。また、通常の一般外来の患者数が飛躍的に増加する中、専門外来についても維持したため評価した。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を		
			重要	自治事務	196,376千円	160,006千円	①小児科外来診療患者数	1日の小児科外来診療患者数(小児科外来患者数/診療日数)	公的医療機関として、地域における医療提供体制の充実を図ることを目標とし、信頼して受診いただける受診環境の整備に努めていることから、小児科外来の診療患者数を指標とする。	R5目標値が未達成の理由・分析			R5年度に改善した点			
			根拠法令	自治事務	R5予算現額	R5決算額(見込み)	②診療日数						R5目標値が未達成の理由・分析		R5年度に改善した点	
			所沢市病院事業の設置等に関する条例 所沢市市民医療センター管理規則	事業の目的及び具体的な内容	186,749千円	170,958千円	③小児神経発達外来、夜尿症外来、フォローアップ外来の患者数	R4実績	R5実績	R5年度に改善した点						
			事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか						
			安心して子育てができる医療環境を整備するため、地域における医療提供体制との連携を図り、良質な医療を効率的・継続的に提供するものである。	会年職員等	7人	66人	73人	目標達成済	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか						
			①小児科外来診療 ②小児神経発達外来等、専門外来の実施	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	①27,448人	②243日	66人	112人	地域における医療ニーズに最大限こたえられるよう、引き続き診療体制の維持に努める。			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		どのように貢献したか	
			期間	3.80人	会年職員等	7.8人	③1,199人	R6目標		評価者			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		どのように貢献したか	
S51 ~	30,708千円	会年職員等	7.8人		66人		総務課長 粕谷 憲之	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか							
341	健康推進部	国民健康保険課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	レセプト点検業務の実施により再審査申出効果額が前年度を上回り保険者負担分が削減された。引き続き効果が上がるよう取り組んでいく。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を		
			優先	自治事務	8,545千円	6,784千円	①レセプト点検率	再審査申出に伴う効果額は、レセプト件数や医療機関での算定内容によって増減が大きいため費用対効果を指標とする。	R5目標値が未達成の理由・分析	R5年度に改善した点						
			根拠法令	自治事務	R5予算現額	R5決算額(見込み)	②再審査申出件数			R4実績			R4実績		R5目標値が未達成の理由・分析	R5年度に改善した点
			国民健康保険法	事業の目的及び具体的な内容	7,665千円	5,193千円	③再審査申出効果額	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析			R5年度に改善した点			
			事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか						
			1 埼玉県国民健康保険団体連合会で審査されたレセプトを受領し、電算処理する。 2 レセプト点検システムにより内容点検を行う。 3 内容について疑義がある場合は、埼玉県国民健康保険団体連合会へ再審査の依頼をする。	会年職員等	0人	150.0%	76.4%	目標達成済	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか						
			期間	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	①100%	②13,605件	R5目標	R5実績	今後、より再審査申出効果額が上がるよう点検結果を踏まえ、対策を行うなど点検内容の精度を高めていく。			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		どのように貢献したか	
			R2 ~	0.23人	会年職員等	0人	③6,557,432円	R6目標		国民健康保険課長 石川 純也			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		どのように貢献したか	
	1,859千円	会年職員等	0人		100.0%			レセプト内容の点検をすることで医療費の適正化を図った。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか						
342	健康推進部	国民健康保険課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	R5目標値の60.0%には達成していないものの、確定しているR4実施率では、県内40市中3位の実績を上げている。他市町村においても、実施率向上には苦労しているが、所沢市では、業務委託の実績が上がらないところを国保専門職による対象者訪問で補っている。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を		
			最優先	自治事務	5,467千円	2,282千円	①特定保健指導(動機づけ支援)の実施率	実施率(全体)	特定保健指導終了者数/特定保健指導対象者数	R5年度に改善した点						
			根拠法令	自治事務	R5予算現額	R5決算額(見込み)	R4実績			R4実績			R5目標値が未達成の理由・分析		R5年度に改善した点	
			高齢者の医療の確保に関する法律、国民健康保険法	事業の目的及び具体的な内容	5,456千円	2,171千円	実績	R4実績	R5実績	R5目標値が未達成の理由・分析			R5年度に改善した点			
			事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	50.0%	32.4%	目標達成済	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか						
			平成20年4月から、各医療保険者には生活習慣病予防及び疾病の早期発見・早期治療を通して、健康の保持増進と生活の質の向上を図ることを目的とした特定健康診査と特定保健指導の実施が義務付けられた。	会年職員等	1人	R5目標	R5実績	R5目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか						
			実施率向上を目指し、特定保健指導の一部(動機づけ支援)については、直営体制から業務委託に切り替え、国の目標値60%が達成できる体制の再構築を目指すものである。	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	①29.5%(令和6年7月25日現在)	27.9%(令和6年7月25日現在)	60.0%	27.9%(令和6年7月25日現在)	R5目標値60%は、国の基本方針で定められている市町村国保の目標値60%を第3期所沢市国民健康保険特定健康診査等実施計画(H30~R5)においても最終目標値として設定し、各年度目標を定めたものである。特定保健指導の一部を医師会に委託することにより、目標達成を目指したが、各医療機関における実績が伸び悩んでいる。医療機関に対しては、より積極的な働きかけが必要と思われる。			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		どのように貢献したか	
			期間	1.65人	会年職員等	1人		R6目標		評価者			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		どのように貢献したか	
H31 ~	13,334千円	会年職員等	1人		60.0%		国民健康保険課長 石川 純也	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか							

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	R4目標					R4実績
343	健康推進部	国民健康保険課	実施計画ランク	事業の種類別	特別会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標値については、達成することができたが、受診率そのものは、まだまだ向上の余地があるため、継続して事業に取り組む必要がある。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を	
			優先	自治事務		23,101千円	13,544千円	①受診勧奨対象者の受診率 (R6からは、糖尿病や糖尿病合併症の傷病名があるだけでなく、HbA1c等の検査または投薬ありの者を受診有とする目標値に変更する。)	医療費が高額になる人工透析への移行を防ぐため、医療機関を受診していない人、もしくは受診を中断した人の勧奨後の受診率を指標とする。	R5目標値が未達成の理由・分析	保健指導対象者の受診率			R5目標値が未達成の理由・分析		
			根拠法令	国民健康保険法		R5予算現額	R5決算額(見込み)				②保健指導対象者の修了率					
			事業の目的及び具体的な内容	事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合				③継続支援対象者の参加率					
			期間	H26 ~		0.64人	5,121千円	0人	①21.2%	19.0%	18.8%			未受診理由としては、自覚症状がないことから必要性の認識欠如や忙しさが想定される。早期の受診の重要性を周知していくことが必要と考えられる。		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			0.60人	4,849千円		0人	②90.9%	20.0%	20.9%	どのよう貢献したか						
			4,849千円	0人		③27.3%	8.5%	かかりつけ医の事業への賛同、協力および対象者の同意が欠かせないため、今後も丁寧な説明に努め、事業実績を上げていく必要がある。	被保険者の病状の安定を図るため、県のプログラムに参加し、事業を実施した。							
評価者	国民健康保険課長 石川 純也															
344	健康推進部	国民健康保険課	実施計画ランク	事業の種類別	特別会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標値80%は引き続き超えることができたが、院内処方におけるジェネリック医薬品への置き換えが進んでいないため、今後も引き続き普及啓発を行っていく。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を	
			優先	自治事務		1,291千円	752千円	①ジェネリック医薬品数量シェア	ジェネリック医薬品数量シェア	数量シェア=ジェネリック医薬品の数量/(ジェネリック医薬品のある先発医薬品の数量+ジェネリック医薬品の数量)×100	R5目標値が未達成の理由・分析			ジェネリック医薬品数量シェア		
			根拠法令	-		R5予算現額	R5決算額(見込み)							R4目標		R4実績
			事業の目的及び具体的な内容	ジェネリック医薬品の利用率の目標値を数量ベースで80%と定め、ジェネリック医薬品の利用促進シールの配布等により被保険者への周知・啓発活動をすすめるとともに、医師会、歯科医師会、薬剤師会等、医療関係者に対しても協力・連携を図り、目標達成を目指す。		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	80.0%	80.1%	目標達成済			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		
			期間	H25 ~		0.38人	3,041千円	0人	①82.5%	80.0%				82.5%		どのよう貢献したか
			0.38人	3,071千円		0人	80.0%	80.5%	今後被保険者、処方元医療機関、調剤薬局それぞれに向けた啓発が必要である。	被保険者の医療費適正化を図るため、周知啓発活動を実施した。						
			評価者	国民健康保険課長 石川 純也												
351	教育総務部	スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	スポーツを楽しむ機会の提供のため、スポーツ振興課主催事業教室の他に、各地区体育館の教室の広報を行っている。自治会館等でのサークル等への指導者の確保、育成及びその質の向上を引き続き図っていく。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を	
			重要	自治事務		300千円	138千円	①参加者募集人数	教育委員会主催教室参加率(参加者数÷参加者募集人数×100)	R5目標値が未達成の理由・分析	地域社会への参加や自らの意志によって学習意欲や探求心を維持し、良き興味を持ち、生きがいのある日々が過ごすことができるよう運動を通して健康・体力づくりを行うことが必要であることから、引き続き参加者の増員を目標とする。					
			根拠法令	スポーツ基本法		R5予算現額	R5決算額(見込み)				②参加者数					
			事業の目的及び具体的な内容	主催事業教室の計画を立て年度初めに年間事業予定表一覧「スポーツ所沢」を市民体育館、各まちづくりセンター、コミュニティーセンター等に配付する。随時日程に合わせ生涯学習情報紙にて募集を行う。運動を通し健康維持を図ると共にスポーツニーズに応え、生涯を通してスポーツに親しむきっかけをつくる。		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	100.0%	93.5%	新型コロナウイルス感染症が5類に分類されたが、狭い体育館で行う教室のため敬遠する方がいた			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		
			期間	S52 ~		0.91人	7,282千円	0人	①810	100.0%				93.0%		どのよう貢献したか
			0.85人	6,869千円		0人	②759	100.0%	100.0%	地区体育館のある地域だけではなく、市全体でどのような運動事業ができるかを考える。また児童館等と連携して子ども向けやその保護者を対象に体操教室を開催するなど、健康体力づくりの場を今後も引き続き提供していく。				高齢者への運動機会の提供を行った。		
			評価者	スポーツ振興課長 三上 佳明												

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	R4目標				
351	教育総務部	スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	誰もが参加できるマラソン大会を通じて、市民の体力づくり及び市内観光スポット等のPRを引き続き実施していきたい。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を	
			優先	自治事務	8,000千円	8,000千円	①総申込者数(非計測者を除く申込者数)	申込率(募集人数(組数)÷申込者数(組数)×100)	募集人数(組数)に対する申込者をパーセンテージで算出。大会の魅力を増し、申込割合を高めていく。				R5年度に改善した点		
			根拠法令	スポーツ基本法	R5予算現額	R5決算額(見込み)	②出走者数(計測者)	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析			・マイボトル持参を撤廃し、従来の給水所を復活させた。		
			事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	③会議開催回数	・関門の設定を変更し、多くの参加者が、眺望の美しい狭山湖堤防を走ることができるようにした。								
			期間	H2 ~	1.48人	0人	④4,706人(非計測者を除く申込者数3,647人)	88.0%	85.6%	実績値としては下がっているが、R5年度はR4年度から申し込み期間を短縮しており、新型コロナウイルスの落ち着きにより、実質的には増加傾向にある。			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		
					11,843千円	0人	②3,225人	R5目標	R5実績				どのよう貢献したか		
					R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	③4回			88.0%			82.9%		ベルーナドームや狭山湖堤上を利用するコースのPRや、ライオンズとのコラボ等、魅力的な大会を継続的に提供できるように収支を考えた更なる工夫が必要となる。
		2.33人	0人		R6目標			評価者							
		18,829千円	0人		85.0%			スポーツ振興課長 三上 佳明							
351	教育総務部	スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	公認の陸上競技場での大会であることから、記録を重視した市民が参加できる大会であるとともに、参加者の健康づくりと生涯スポーツの振興を図れる大会になるよう実施していく。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を	
			優先	自治事務	-	-	①エントリー数	申込率(募集人数÷エントリー数×100)	募集人数に対するエントリー数をパーセンテージで算出。大会の魅力を増やし、申込者を増やしていく。				R5年度に改善した点		
			根拠法令	スポーツ基本法	R5予算現額	R5決算額(見込み)	②参加者数	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析			R5年度新規事業		
			事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合		-						-		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			期間	R5 ~	-	-	①755	R5目標	R5実績				どのよう貢献したか		
					-	-	②563	100.0%	75.5%	フェスティバルとして初めての開催のため、周知不足が要因である。			会場である早稲田大学との日程調整や、如何に参加者を増やすか、PRの方法にも工夫が求められている。		市民の体力向上と健康増進に寄与した。
					0.68人	0人		R6目標					評価者		
		5,495千円	0人		100.0%			スポーツ振興課長 三上 佳明							
352	教育総務部	スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	スポーツ庁から業務委託を受け、トップアスリートが国際競技力向上に資する活動を効果的・効率的に実施することができるよう、施設の利用環境を整備を行うため、練習場の確保及び拠点スタッフの配置を行った。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を	
			重要	自治事務	3,340千円	2,514千円	①練習希望日数	練習会場の確保率(練習会場確保日数÷練習希望日数×100)	日本ゴールボール協会が希望する日程で練習が実施できるように、市民体育館の施設を確保するもの。				R5年度に改善した点		
			根拠法令	スポーツ基本法	R5予算現額	R5決算額(見込み)	②練習会場確保日数	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析			フィジカルトレーニングの質を向上させるため、専用トレーニング室にベンチプレス用のバーやウエイトなど、備品をこれまで以上に充実させた。		
			事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合		100.0%						100.0%		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			期間	H28 ~	0.52人	0人	①69	R5目標	R5実績				どのよう貢献したか		
					4,161千円	0人	②69	100.0%	100.0%	目標達成済			ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点機能強化会議を開催し、地域資源を活用したコンソーシアムの形成を行い、地域としてのサポート体制を整えと共に、地域振興の核となれるようコンテンツ化を図る。		NTC施設としてゴールボールの認知活動に貢献した。
					0.38人	0人		R6目標					評価者		
		3,071千円	0人		100.0%			スポーツ振興課長 三上 佳明							

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
					会計	投入コスト		活動実績(R5)	成果指標			総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠						
353	教育総務部	スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	今後においても、より一層市民の余暇の拡大、健康増進に努めていきたい。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を	
			重要	自治事務		247,913千円	385,250千円	①施設利用枠数 ②施設利用人数 ③施設使用料収入	施設稼働率(利用枠数÷利用可能枠数×100)	市民の余暇の拡大、健康増進に寄与することを目的としていることから、施設稼働率を指標とする。目標値としては、前年より増やすことを目標とする。	R5目標			R5実績		
			根拠法令	スポーツ基本法、所沢市体育施設設置及び管理条例、所沢市都市公園条例・同施行規則		R5予算現額	R5決算額(見込み)									
			事業の目的及び具体的な内容	事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合									R4目標
			期間	551 ~		5.09人	0人	実績	80.0%	75.9%	令和5年度の施設利用可能枠数は令和4年度に比べて約5,500件増加したものの、記録的な暑さの影響等で屋外運動場の稼働率が伸び悩んだため目標値未達成となった。			R5目標		R5実績
			40,730千円	会年職員等		0人	①258,554件	80.0%	76.4%							
			R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		R6目標	R6実績									
			4.69人	0人		②801,114人		80.0%								
			37,900千円	会年職員等		0人	③107,890,110円									
			353	教育総務部		スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額			項目名		指標名
重要	自治事務	30,289千円			22,775千円		①体育施設整備費執行額(修繕) ②体育施設整備費予算額(工事) ③体育施設整備費執行額(工事)	整備施設の整備率(予算執行額÷予算額×100)		施設の修繕、整備を目標とし、年々進む老朽化に対応しながら、安全かつ快適な施設運営を行っている。	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析			
根拠法令	スポーツ基本法、所沢市体育施設設置及び管理条例	R5予算現額			R5決算額(見込み)											
事業の目的及び具体的な内容	事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費			R4その他職員従事割合									R5目標	R5実績	
期間	S45 ~	1.22人			0人		実績	100.0%		98.1%	令和5年度は工事がなかったため修繕費及び設計委託料の執行となった。修繕費については、予算残額の関係で出来なかった修繕があったため執行率100%とはならなかったものの、96.1%の執行率ということで目標値に近い実績となった。	R5目標	R5実績			
9,762千円	会年職員等	0人			①12,742,114円		100.0%	96.1%								
R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	R6目標			R6実績											
0.45人	0人	②0円					95.0%									
3,636千円	会年職員等	0人			③0円											
353	教育総務部	スポーツ振興課			実施計画ランク		事業の種類別	一般会計		R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A
			重要	自治事務	2,700千円	2,700千円	①大会参加者数 ②前年度大会参加者数		大会参加率(今年度参加者数÷前年度参加者数×100)	体力事業として実施している各種スポーツ大会の参加者を増やしていく。	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析			
			根拠法令	スポーツ基本法、体力づくり市民会議交付金交付要綱	R5予算現額	R5決算額(見込み)										
			事業の目的及び具体的な内容	事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合								R5目標	R5実績	
			期間	S47 ~	0.11人	0人	実績		100.0%	250.0%	目標達成済	R5目標	R5実績			
			880千円	会年職員等	0人	①779	100.0%		556.4%							
			R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	R6目標	R6実績										
			0.13人	0人	②140		100.0%									
			1,051千円	会年職員等	0人											

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	R4目標				
353	教育総務部	スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	少子化及びスポーツ少年団に属さないアーバンスポーツの台頭などで登録人数は横ばい若しくは微減状態にあるが、青少年の育成というスポーツ少年団の理念があることから引き続き、団員の確保に努めていく。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を	
			重要	自治事務	1,110千円	1,110千円	①登録団体数 ②登録団員数	登録団員数率 (今年度登録数÷前年度登録数×100)	少子化傾向にあるものの、団員数は増えている。今後も、スポーツ少年団の周知や魅力を高め、団員登録数を維持していく。	R5年度に改善した点					
			根拠法令	スポーツ基本法、スポーツ少年団補助金交付要綱	R5予算現額	R5決算額(見込み)				1,110千円			1,110千円		R5年度に改善した点
			事業の目的及び具体的な内容	スポーツを愛好する青少年がスポーツを通じ心身の健全な育成及び鍛錬することを目的に結成した単位スポーツ少年団を、育成・支援するために「所沢市スポーツ少年団」が結成された。この組織が行う事業と組織の充実を図るために、交付金の交付を開始した。	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	0.34人	0人	実績	100.0%			103.2%		R5目標値が未達成の理由・分析
			期間	S48 ~	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	2,721千円	0人	①57	100.0%			101.3%		目標達成済
					R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	0.38人	0人	②1,631(前年度1,610)	R6目標					
					R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	3,071千円	0人		100.0%					
353	教育総務部	スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	スポーツ協会が中心となり、所沢シティマラソン大会やところざわアスレチックフェスティバルを開催し、多くの市民に参加しやすい大会を目指すものである。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を	
			重要	自治事務	1,960千円	3,000千円	①登録団体数 ②登録人数	登録人数 (今年度登録数÷前年度登録数×100)	市民がスポーツに参加する機会を確保するため、所沢市スポーツ協会加盟登録団体の全てが市民を対象とした講習や大会を開催するように各支部の登録人数を維持していく。	R5年度に改善した点					
			根拠法令	スポーツ基本法、体育協会補助金交付要綱	R5予算現額	R5決算額(見込み)				3,000千円			3,000千円		R5年度に改善した点
			事業の目的及び具体的な内容	所沢市におけるスポーツを振興し、市民の体力向上とスポーツ精神の高揚をはかり、もって市民生活の向上発展を目的に設立された当協会に交付金を交付することにより、この協会設立目的達成を支援する。	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	0.24人	0人	実績	100.0%			96.6%		R5目標値が未達成の理由・分析
			期間	S29 ~	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	1,920千円	0人	①25	100.0%			104.5%		目標達成済
					R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	0.08人	0人	②10,412(前年度9,964)	R6目標					
					R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	646千円	0人		100.0%					
353	教育総務部	スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	市民に対し、レクリエーション活動を普及させるため、毎年2月にレクリエーションまつりを開催している。また、市民を対象としたスポーツの講習会や大会等を増やす取り組みを行っている。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を	
			重要	自治事務	600千円	600千円	①登録団体数 ②登録人数	登録人数 (今年度登録数÷前年度登録数×100)	市民がスポーツに参加する機会を確保するため、所沢市レクリエーション協会加盟登録団体の全てが市民を対象とした講習や大会を開催するように登録人数を維持していく。	R5年度に改善した点					
			根拠法令	スポーツ基本法、所沢市レクリエーション協会補助金交付要綱	R5予算現額	R5決算額(見込み)				600千円			600千円		R5年度に改善した点
			事業の目的及び具体的な内容	レクリエーションを原動力として、市民と共に地域の活性化を図る活動を繰り広げていくため設置され、当該団体の活動を支援するために補助を開始した。近年少子高齢社会が進んでいる中、レクリエーションを通じて、市民の健康増進を図るとともに関係団体相互の親睦を密にし、レクリエーション運動の推進を図る。	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	0.34人	0人	実績	100.0%			99.5%		R5目標値が未達成の理由・分析
			期間	H11 ~	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	2,721千円	0人	①13	100.0%			98.8%		協会登録者の高齢化により、人数が減った。
					R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	0.33人	0人	②2,244(前年度2,271)	R6目標					
					R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	2,667千円	0人		100.0%					

